

医療費適正化推進委員会としての提言骨子（案）

平成 25 年 9 月

1. 目標

- ・高齢者プログラムに基づき、健康な高齢者を80%以上に
- ・国保の医療費の伸びを、対前年度比3%以下に
- ・子どもの医療費は24年度決算額以下を維持

2. 医療費適正化のための課題

- ・健康リスクをかかえる人へのアプローチによる早期治療・重症化予防
- ・健康づくりを中心としたインセンティブ付与によるまちづくり
- ・介護予防の推進
- ・市民の健康を総合的にケアするためのネットワークづくり
- ・救急医療利用の適正化

3. 医療費適正化のための具体策

(1) 国保特定健診・がん検診の受診促進と保健指導の充実

- ・国保特定健診の受診率向上
- ・特定健診後の生活指導の必要な人へのフォローの充実
- ・各種がん検診の受診率向上
- ・がん検診等で精密検査が必要となった方の受診率の向上

(2) 健康寿命長期化モデル事業の実施（H25～H27）

- ・市内飲食店におけるヘルシーでおいしい食事の普及
- ・ポイント制度（仮称）の導入

(3) 介護予防

- ・いきいき100歳体操の参加者増
- ・介護予防サポーターの養成
- ・地域包括ケアシステムの具体化

(4) 国保財政の健全化

- ・医療費分析の推進
- ・レセプト点検の充実・強化
- ・後発医薬品（ジェネリック薬品）の啓発
- ・1万円キャッシュバック（健康推進奨励金事業）

(5) 小児医療費の適正化

- ・小児医療費の現状の周知
- ・適正受診の啓発
- ・子どもの健康増進支援

食育の推進

予防接種の推進

「早ね・早おき・朝ごはん」の推進

うがい・手洗いの励行による風邪や感染症予防

歯みがき習慣定着によるむし歯予防 など

(6) 在宅医療介護連携拠点事業の実施（H25～H27）

- ・医療介護従事者の顔の見える関係づくり

(7) 救急医療適正利用普及啓発事業の実施（H25）

- ・救急医療体制の構築と周知
- ・救急対応の知識の啓発

4. 健康総社21計画策定（H25）

5. まとめ